

■二輪車販売の実務と情報

# ヤマハニュース

YAMAHA NEWS NO.122 1973

# 8

AUG.



《特集》・夏の活動「西と東のツーリング」

カラー トライアルの国際チャンピオン

ミック・アンドリュースがその神技を公開!!



盛夏お見舞申しあげます

さて、いよいよ八月

日本中のヤングの期待を集めて、  
 ま夏の興奮『第二回ヤマハ・グランド・スポーツ・フェスティバル(YGSF)』の開幕です。

若者の季節、SLの季節・八月のメインイベント・SLの一大祭典YGSFは、若者たちの夏を、グンと大きく盛り上げます。

お客さまの話題も、きつとYGSFひとつに絞られてくることでしょう。

YGSFで結ばれたお客さまとのつながりは、何ものにも変えがたいご商売の宝。

また中旬には、モトクロス日本一を賭けて、第10回モトクロス日本グランプリ大会が、開催され、ここでもヤマハの活躍が大きな注目を集めています。

ツーリングにも最高、躍動の季節八月は、SL(スポーツツレジャー)で、どうぞ積極的なご商売を――

## 第2回ヤマハ・グランド・スポーツ・フェスティバル

会場・富士スピードウェイ 主催・ヤマハ発動機株式会社

※スケジュールは天候その他の事由で変更されることもあります。事前に連絡先にお問合わせください。

▶競技会	▶会場	▶主催	▶連絡先
青森県選手権第4戦鯉ヶ沢モトクロス	鯉ヶ沢町	MFJ青森県支部	01722(2)2809
中部選手権第5戦愛知モトクロス	トレールランド愛知	MFJ愛知スポーツ委員会	052(661)0391
全日本選抜関東第5戦ZMC早戸川トライアル	早戸川	ZMC	03(561)8566

全日本選手権第8戦 第10回モトクロス日本グランプリ	熊本県阿蘇大観峰	MFJ	03(561)8566
北陸選手権第3戦福井モトクロス	勝原スキー場	MFJ北陸スポーツ委員会	0776(38)0558
岩手県選手権第6戦大野モトクロス	大野サーキット	モームファントム	0196(24)0321

全道選手権モトクロス第7戦北見大会	北見	MFJ北見支部	01572(4)6130
宮城県選手権第4戦仙台モトクロス	仙台テクニカルハイランド	レーシングメイト仙台	0222(73)0475
四国選手権第6戦香川モトクロス	トレールランド高松	MFJ四国スポーツ委員会	0878(62)8411

〈8月31日まで〉  
 Zippy & CHAPPYふたりは仲よしLOVE LOVEシャッポプレゼント  
 〈好評 実施中!〉  
 ハロー! チャピィキャンペーン 〈チャピィダブルテレフォン〉〈チャピィスクール〉

●ヤマハ発動機株式会社

〒438 静岡県磐田市新員2500番地 ☎(05383)21111(L:大代)

●北海道ヤマハ

〒063 札幌市西区24軒1条7丁目35 ☎(011)641)2711

●仙台支店

〒983 仙台市日の出町3丁目8-36 ☎(0222)(94)6121-6

●東京支店

〒104 東京都中央区銀座8丁目9-13銀座オリエントビル ☎(03)(572)2021

●名古屋支店

〒462 名古屋市北区辻本通2丁目34 ☎(052)(913)2121

●大阪支店

〒550 大阪市西区北堀江通4の27 ☎(06)(538)7331

●四国支店

〒760 高松市松島町3丁目22の9 ☎(0878)(31)1661

●九州支店

〒812 福岡市博多区博多駅中央街8丁目36博多ビル ☎(092)(41)3606

●広島支店

〒734 広島市東区東町3丁目16の9 ☎(082)(82)4111

1 水  
2 木  
3 金  
4 土  
5 日  
6 月  
7 火  
8 水  
9 木  
10 金  
11 土  
12 日  
13 月  
14 火  
15 水  
16 木  
17 金  
18 土  
19 日  
20 月  
21 火  
22 水  
23 木  
24 金  
25 土  
26 日  
27 月  
28 火  
29 水  
30 木  
31 金

# 夏はオートバイスポーツレジャー

ジャーがまつさから……



北に南に、東に西に、涼を求めてスポーツレジャーは今まつさかり。そこで、今号は西と東にツーリングの話題をあつめてみました。その一は、名古屋支店普及本部がSLクラブの親睦を図って企画、販売店のみなさまのご協力のもとに実施した「合歓の郷ヤングインツーリング大会」。その二はMCF AJ（全日本モーターサイクルクラブ連盟）創立十五周年を記念して開かれた「箱根旧街道名物天王山焼きツーリング大会」。

それぞれに趣向をこらしたものだけに、お店のSL活動をおしすすめていくうえで参考になれば幸いです。

（写真は合歓の郷を目指すSLパーティとヤングインのミュージック）



女性メンバーも参加してのボール運び。ジッピィをあやつってソレ!



ゴーゴーたけなわ!



この際トライアルをマスターし、仲間に腕の差をつけよう

# 合歡に集う一泊二日の

## SLビッグ・ツアー

中部地区SLの集い「73合歡の郷ヤングインツリーング大会」は、快晴の六月九日、十日の二日間にわたり、緑と太陽あふれる「合歡の郷」（三重県志摩）を舞台にひととき盛大に開催された。

午後一時の集合時間めざして、各地から愛車を駆って集まってきたパーティは、女性クラブ員五十名を含めてその数二百。参加記念のSLマーク入りTシャツをもらって、さっそく楽しい集いは開幕。

まず手はじめは、人気急上昇のトライアル競技を学ぶヤマハトライアル教室。安全運転



恥ずかしながら大きく口をあけて、ハイ、パクリのパン喰い競争

にも直結する技術が学べるとあって、用意された五台のトライアル車はフル回転。模範テクニクと技術解説を担当する三人のインストラクターは大汗かいての応待だ。

そして舞台は一転して、和氣あいあいのジムカーナ。おなじみパン喰い競争に、ポール運びに、女性メンバーの声援もあってそのにぎやかなこと。落伍者にはバツ・ゲームもあって時間の立つのを忘れて興じた。

夕食後の八時。ビートのきいたロックバンドの演奏をバックにゴーゴー開演。そして伊藤あいこと歌うフォーク・コーラス。上気し



ミュージックは最高

た顔をファイヤーストームがまた赤く照す。そして映画大会。

明けて翌日は青い海が舞台。合歡マリナーから小グループに分かれてヤマハボートの試乗。潮風を肌いっぱいにうけての豪快なクルージングだ。ピバSLスポーツレジャー！このあと、サイクリングに、テニスに、アーチェリーに、またフィッシングなど、各自それぞれに自由に遊び、昼食のあと、この内容ゆたかなSLの集いはまたの再会を誓って楽しい幕を閉じた。





青い海へゴー。潮風をきる感じもまた格別なスポーツレジャーだ



結果はいかに。オッ、やったね！



こちらは自転車でトライアルの真似事



あれこれと、話はずむ楽しい食事

# クラブマン 箱根にあそび



M C F A J (全日本モーターサイクルクラブ連盟) 主催の「箱根旧街道名物天王山焼ツリーング大会」は六月十七日、箱根を中心に東と西に分けてラリー形式で実施された。

スタート集合場所は三カ所。東京地区は東名高速道路用賀インター入口、神奈川県地区は江の島有料道路西側駐車場、静岡地区は富士市吉原と分けて、それぞれ七〜八台の小パーティを組んで早朝七時の出発。

目指すは箱根湯本近くの旧街道、箱根雀の

宿・春光荘。午前十時に到着集合の予定だ。

パーティを小規模なグループに分けたのは最近の交通事情を考慮して、より安全なツアーをのぞむためのもの。ただし、それぞれに輸送長なる三本線、二本線の腕章をつけたリーダーがつく。

到着迄に十分な時間を組んでのスタートだけに、コースどりは輸送長まかせ。江の島組は箱根を巡って湯本に下るといふ余裕をもって、定期には目的地に各パーティが大集合。



「いい湯だな、ホイ……ッ」と。参加したほうはのんびり温泉につかってこれはゴキゲン



「食事だ、食事だ」。まずは天王山焼きこと「へっちよい焼き」でスタミナをつけよう



「人数のチェックは?」「OKです」「料理は?」「ハイ、すでに調理場に通ってます」会長や腕章をまいた人はいつも忙がしそう。

愛車を点検したのち、駐車場に整然とならべてまずは小休止。このあと、離れに陣取って、清流・早川をせき止めてつくられた漁場にマスのつかみ取りに参加するもの、散策に出るもの、露天風呂にかかるもの、思い思いの行動をとって、正午には天王山焼き、別名「へっちよい焼き」に舌つづみをうった。

このツーリング大会は、MCFAJ創立15周年を記念して企画されたことし二度目の行事で、今後は各県支部ごとにツーリング委員会を結成し、モーターサイクリストとして正しい走行マナーと楽しいツーリングの普及につとめることをこの行事で確認、ヘルメットやブーツなど、豪華賞品を多数用意した福引き会を行なって午後二時に散会した。





こんなカッコで失礼します。これ、童心にかえってのマスのかみどりのスナッフ



「オーイ、とったゾー！」



「オレもだ、ホラッ」



「へっへ、やったぜ」



「ちょっとヌメルね」



「さあ、帰りも安全運転で……」



「おやバラついてきた」 気づいた人が仲間のヘルメットを集める。ここに友情が……。

# ヤマハDTY250 (輸出用) 国内トライアルにデビュー



6月3日、神奈川県・早戸川流域において行なわれた「関東トライアル第6戦」(主催CRTC)でデビューした「ヤマハトライアルクラブ」の鈴木忠男選手。トライアルは競い合う相手がそばにいないんで勝手がちがう、といいますが非凡なウデをみせてトライアル仲間の注目を浴びた。

最近とみに話題をひろげてきているトライアルに、ホットなニュースが流れています。それはヤマハの積極的なトライアルへの進出です。トライアルの国際的な舞台に、ヤマハは「トライアルの魔術師」といわれる世界の第一人者、イギリスのミック・アンドリュウス選手をおくりだしていることはすでに広く知られていますが、さらにこのミック・アンドリュウス選手を日本に招いてヤマハトライアル教室の開催、そして、輸出用モデル「ヤマハトライアルTY250」の発表、TY250の国内競技参加、同・木村治男選手のベストパフォーマンス(優勝)獲得と、安全運転に役立つトライアル競技の普及にヤマハの活動はいよいよ精力的です。

DT250改造のトライアル車を持ち込んで意気盛んな大月信和選手







日本一むずかしいといわれる「関トラ」で40  
セクションを減点31でフィニッシュ。1点差  
でベストパフォーマンスを逃したが、みごと  
ランナーアップで「TY20」の性能をよくひ  
きだしてみせた木村治男選手。なお、この大  
会は、雑誌にカレンダーとして発表された以  
外はなんのPRもなかったが、70台を越える  
マシンがあつまり、午前20セクション、午後  
20セクションの規定を、A、B2班に分けて  
交互に競技して40セクションのスケジュール  
を終らせるほどで、1班3名のオフサイバー  
は休むヒマもない忙がしさであった。

# 木村治男“TY250”で優勝!!



TY250で二度目の競技で、次位ランナーアッ  
ブに16点差をつけてみごと優勝（ベストハフ  
オーマンス）した木村治男選手。



自然の地形にプラス人工的な障害物を加えたセクションは20。木村治男選手はこのうち14をクリーン(減点0)で通過した。

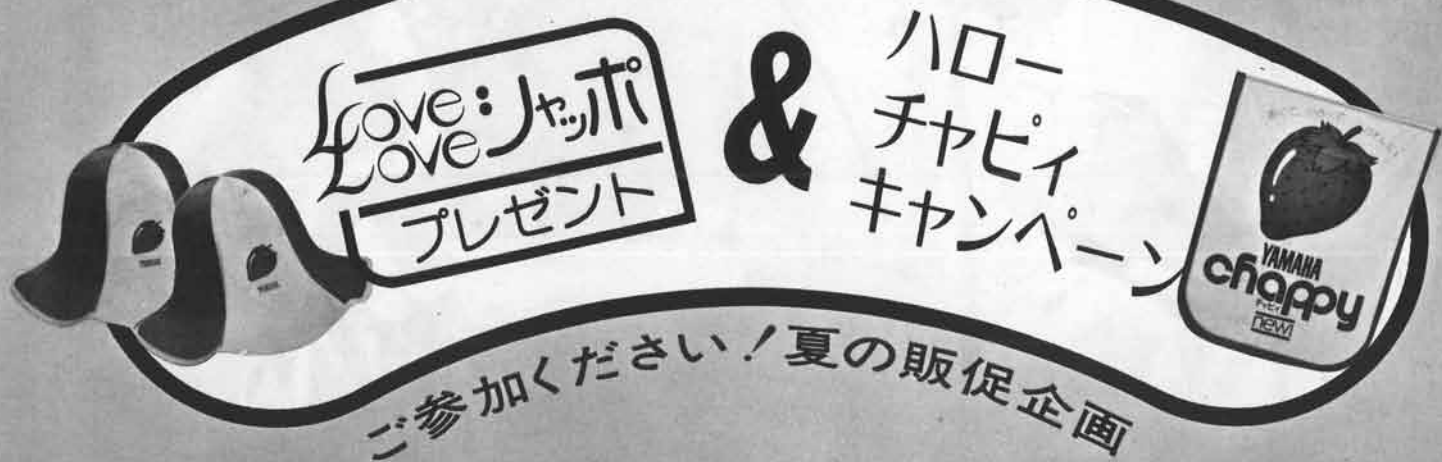


高度なテクニクが要求される困難なマデイー(ぬかるみ)セクションで奮闘する米倉征三選手(ファーストクラスアウワード6位)

つづいて6月10日にはMFJ(日本モーターサイクル協会)の全日本選抜トライアル関東シリーズ第4戦、中部シリーズ第2戦が行なわれた。関東シリーズ第4戦の会場は神奈川県・相模川流域で、午前、午後20セクションの2ラップ制。しかし、この大会も参加者は70名をオーバー、1セクションをひとり30秒として計算しても、セクション閉鎖には35分以上はかかることになり、結局はタイム・スケジュールを大きくオーバー、午後は4セクションに急きょ変更して幕を閉じた。この大会で鈴木忠男選手と共にロードレースのベテラン三室恵義選手がTY250で登場、トライア

ル界にまた新しい話題をまいた。いつぼう中部シリーズ第2戦は浜松バイアルスパークで開催、エントリー数実に120台におよび、50台ちかくを主催者が断るといいうハブニングもあつたが、注目のTY250は木村治男、米倉征三、渡辺滋の3選手で出場、午前8セクション2ラップ、午後4セクションの計20セクションにおいて、木村治男選手が減点17、次位ランナーアップに16点差をつけて堂々のベストパフォーマンスをかつとつた。また初挑戦の米倉征三選手は減点44でファーストクラスアウワード6位となつた。

ロードレース界の大御所・三室恵義選手。つい、降りて押したくなつちゃうヨ——といいながらも、かなり意欲的などころをみせた



ご参加ください！夏の販促企画

# 盛夏お見舞申しあげます。

暑さに、とかく動きもにぶりがちの昨今ですが、オートバイがあれば、より行動的に動けることは確か。海に、山に、涼を求めてのツーリングが盛んな所以です。

そこで、もつと手軽に、経済的に、これまでオートバイに無関心をよそおっていた方々にもオートバイのすばらしさを知っていただこうと、いま「ハローチャッピーキャンペーン」と「Love Love ジャッポプレゼント」のセールスキャンペーンがすすめられています。

ユニークなふたつの企画  
「チャッピーダブルテレフォン」と  
「チャッピースクール」

このふたつの企画をひとつにしたのが、「ハローチャッピーキャンペーン」です。

「チャッピーダブルテレフォン」は、投込みDMで、いまヤングの間で人気絶頂の栗田ひろみ、浅田美代子、森田健作、沖雅也とお客さまとがテレフォンデイトを楽しんでもらうもの。その電話番号は(03)5011-8299番。テレフォンデイトは先に行なわれたジャッピーキャンペーンでも実施し、31日間で二〇四万通話を数えた実績をもっています。さらに今回はあなたのお店にも直接お電話いただく(DMに刷込み)というダブル・システムです。

もちろんお電話いただいたお客さま、そしてご来店いただいたお客さまに差上げる記念品もいろいろと用意されています。

外に出て積極的なご商売  
「チャッピースクール」

お店でお客さまを待つよりも、お店からうって出てセールスを展開するのが「チャッピースクール」のポイントです。

チャッピーをお買上げいただくには、商品を見て、さわって、乗ってもらうのが何よりも

の良策。団地や住宅地に「チャッピースクール」の会場を設定してお客さんにお集りいただき、商品の説明、試乗、原付免許取得のご案内を図るものです。

さらに詳細については担当のセールスマンがご説明申しあげますが、ヤマハでは意欲十分なあなたのお店に対して、必要に応じてセールスマンを派遣するほか、キャンペーン用のいっさいの販促ツールを用意しております。

これまた素晴らしい  
「Love Love ジャッポプレゼント」

頃はレジャーシーズンの真盛り。このチャンスにナウなジャッポを提供しようというのがこの「Love Love ジャッポプレゼント」です。いまから8月31日までの期間中に、スポーツテイファッションバイクの「ジッピー」または赤くて小さくてかわいい「チャッピー」をお買上げのお客さますべてに「Love Love ジャッポ」をプレゼントするものです。

ジャッポの素材はコットン。赤、白、緑の明るい配色で、イチゴのワンポイントがしゃれたアクセントとなっているものです。

暑さは盛りですが、お店のみなさまにとつての何よりも暑気ばらいは売上げ増がいはちばん。このユニークなセールスキャンペーンをぜひお店の販促にお役立てください。



ウワーツ、すごい!  
これがチャンピオンの  
トライアル・テクニックだ  
★ミック・アンドリュウスの★ヤマハトライアル講習会★



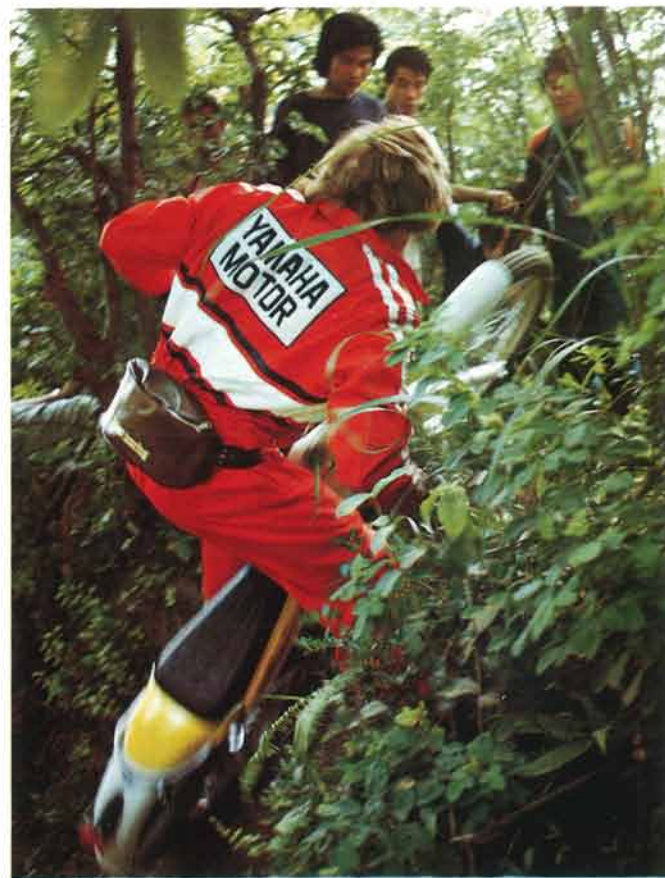
ヤマハのトライアル・マシンに乗って活躍のさましいトライアルの世界的な第一人者ミック・アンドリュウス選手を招いて、いまチャンピオン、ミック・アンドリュウスのヤマハトライアル教室が、日本の各地で開かれている。これはその最初の講習会として、7月7日、輪岡県袋井市のヤマハコース特設会場でひらかれた。このトライアルは第三のモータースポーツであるが、安全運転の技術向上にも非常に多くの役立つポイントが学べることから、ヤマハではトライアルの普及活動を積極的におすすめすることとし、今回の行事もその一環として企画された。なお、使用車はさきも5月に発表された輸出用の「ヤマハトライアルTY250」を用いている。





パワーをきかしてヒョイと車を立て、その場でクルッと方向転回

切なこと、それはトライアル・マシンの扱いに馴れること。  
い。これが初心者にとってはいちばん重要なことである。



招待した報道関係者を前に迫真の演技をみせるミック。

「ウワァーッ、すごいッ！」  
「やるウ、さすがチャンピオン！」  
時ならぬ歓声のどよめきが、夏のヤマハコースの一角からわきあがった。  
これは、ヤマハの招きでこのほど来日したヨーロッパのトライアルのチャンピオン、ミック・アンドリュウ選手のテクニクに寄せられた文字どおり感嘆の声である。これまで誰れがトライしても、けっしてクリーンできなかったロック・セクションを、ミックは金髪をなびかせながら、いともやすやすと、二度、三度とクリーンしてみせたのである。  
それは、あたかもスローモーションの映画を見ているような感じで、目の前で次々とくりかえされながらも、初めてチャンピオンのテクニクを見るものにとつてはにわかには信じがたく、まさに白昼夢のような出来事さえあった。





## ●ミック・アンドリュース選手の ——略歴

正式にはマイケル・ジョン・アンドリュース (Michael John Andrews) といい、1944年7月5日生れの29才、イギリス人。14才のとき初めてオートバイに乗り、15才でトライアルに初出場。16才にはAJS(英)のファクトリーチームに入り、トライアルのほかにモトクロスにも出場する。21才のときブルタコ(西)のファクトリーに入り、翌1966年から同ジスベインのオッサ・ファクトリーとなる。

ヤマハ・ファクトリーに入ったのは今年の3月からである。トライアルの普及活動にはことのほか熱心で、アメリカにもしばしば渡り「トライアル教室」をひらいている。

主なトライアル成績は次のとおり——

- ①スコティッシュ6日間トライアル (S.S.D.T.) に優勝3回、2位3回、3位3回など。初出場は1962年、AJSファクトリーとして参加。
- ②インターナショナル6日間トライアル (I.S.D.T.) に優勝4回。初出場は1965年で現在までに7回の出場。
- ③ヨーロッパ・トライアル・チャンピオンシップで、1971年、1972年と2年連続優勝。現在このシリーズ戦で、ヤマハに乗って2位を確保している。なおトライアルはこのヨーロッパ選手権が、おそらく来年は世界選手権となり、アメリカから始められるようである。



トライアルを志す初心者にとって、もっとも大それたそして最初はやさしいセクションから始めて欲しい

「ウワァーッ、すごい！」  
「やるワ、さすがチャンピオン！」  
溜息と共に思わずもれた感嘆の声は、クリンして一瞬の間をおいてからわきあがり、割れるような拍手があとにつづいた。

「ほっと、我にかえったトライアル・ライダーから、今度は次々と質問の声がかかる。」

「ギヤは何速？」

「フロントをあげるテクニクの秘訣は？」

「どうして岩のテッペンを通るのか？」

この日、ヤマハコース内に特設されたセクションはロック、玉石、ステアケース、ダウン・ヒルの4。いずれもセクション通過の重要なポイントをおりこんでの設定である。

それだけに、いかにチャンピオン、ミック・アンドリュース選手じきじきの指導といえども、短兵急にことはすすまない。一見やさしそうに見えていても、前輪の通るミチ、後輪の通るミチ、そしてアクセルの開閉につながる重心移動などのバランスがとれないかぎり、はクリーンできない。

しかし、最初は難関であったところも、二度、三度と回を重ねるごとに、受講者のウデ前もあがり、バランスのコツをのみこんで走りっぷりも堂に入ってきたものだった。

この日は、来日して初めての講習会とあって、受講者も選定された人々であったが、八月四日、五日の「ヤマハ・グラランド・スポーツ・フェスティバル (YGSF)」まで、都合四回、東京をふりだしに名古屋/大阪、九州/四国、東北/北海道地区と、「ミック・アンドリュースのヤマハトライアル教室」はつづけられ、日本の各地に次々と増加しつつあるトライアル・ファンの技術向上につとめることになっている。乞うご期待！





受講生を前に、良い例、わるい例を見せ、どこがポイントかを適切に説明するミック。報道関係者のカメラがパチリ、パチリと鳴る。

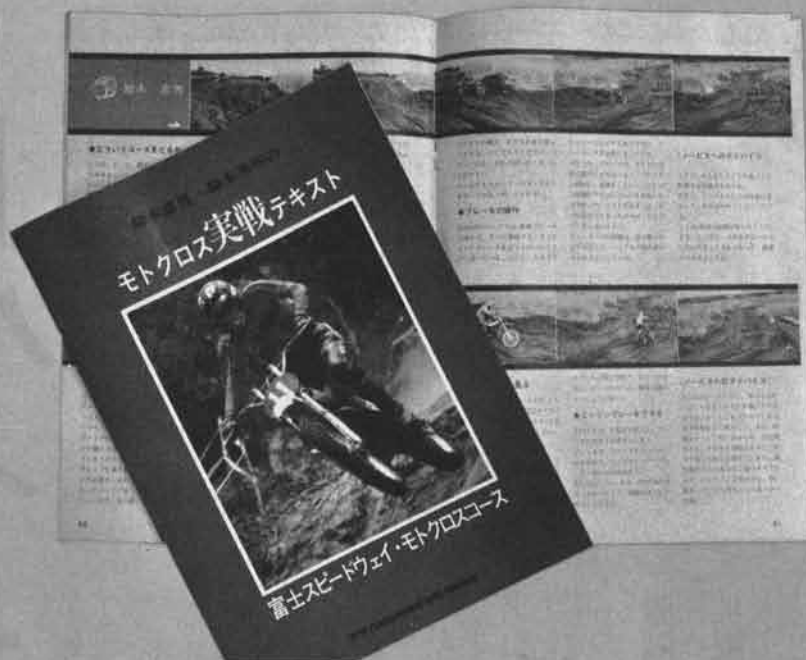


＊お客さまにおすすめください

鈴木忠男・鈴木秀明の

# モトクロス実戦テキスト

◆富士スピードウェイ・モトクロスコースを舞台に分解写真で解説



日本の代表的なモトクロスコースの中でも最も厳しいといわれる富士スピードウェイ・モトクロスコースを例にとり、輝くスターライダー鈴木忠男・鈴木秀明両選手が、明日のチャンピオンを目指す若者たちに、“勝つための秘訣”をここに公開しました。

◆指導 鈴木忠男(極東レーシング会長)

” 鈴木秀明(遠州ライダーズ会長)

◆解説 岡部敏彦(プレイメイトRT会長)

■内容は――

- スタートは何速か
- より速く、より正確に走れるコースは――
- ギャップをどう越えるか――

●アクセレーションのコツは――

●バンクの使い方は――

●砂地のコーナーワークは――

その他チャンピオンが実際に走り込んで体得したテクニック、走り方などすべてにわたって詳細にコーチします。

速く走るために、モトクロスに勝つために絶対に役立つ指導書として、TCMSをはじめモトクロス実戦派のお客さまには、まさに必読の実戦テキストです。

■体裁は――

B5判、分解写真をふんだんに使用したオフセット印刷、全40ページ。価格250円です。

■お申し込み、お問合わせは――

ヤマハ発動機株式会社 普及本部へどうぞ  
静岡県磐田市新貝2500 〒438

こんにちは  
**ヤマハ**  
です

# 経営者は オートバイ・ライダー

ものを販売するにあたって、商品売るのはもちろんですが、それにプラスして、修理の早さや商品の楽しみ方など、いわゆる「ソフトウェア」を売るのが最近の商法となっています。

このソフトウェア部門をどうやって開発するか、ということが、業種の別なく、またメーカー、ディーラーの別なく新しい商法の大きな話題となっています。

商品は、どこで売っても同じです。それだけに、どこにでもあふれている商品を、自分の店で買ってもらうためには、サービスのよさ、お店の親しみやすさ、人柄、交通の便のよさなど、商品販売に附随するさまざまなソ

フトウェアのつよさが問題となるわけです。

商品販売の勝負は、これからの時代にはソフトウェア部門の独自性と豊富さできまる、とさえいわれているゆえんです。

今月の「こんにちはヤマハです」は、経営者自身がオートバイ・ファンで、ご自身オートバイ・ライダーであるところから、それに附随するさまざまなメリットをつよみとして、拡販に成巧している例をご紹介します。

どのお店にも、そこにしか出来ないソフトウェアが必ず開発できるはず。ここに登場されるみなさんを参考にされて、お店独自のソフトウェア開発にアイデアをしばってみてください。





真新しい店舗。このお店を維持し、さらに大きく発展させようと赤石社長は何事につけ意欲的です。

# モトクロスから

# はじめまった店舗開店

スポーツショップ上尾ヤマハ ● 埼玉県上尾市

赤石 博行さん

## オートバイ好きを

## みごとに開花させて

人が、何か行動をするとき、その行動の裏には長い歴史が秘められているものです。それらの歴史は偶然の作用で、突然何かの形で思いがけない花を咲かせたりします。

何が、どこで、どのように役に立つか、ご当人も知らないままにやっていた行為が、突然大きな実りをもたらす——そんなことはよくあるものですが、赤石さんの場合も、まさしくそれでした。

好きで好きで乗り回していたオートバイの、その知識や技術が役に立って、ご当人が考えてみたこともなかったオートバイ店を開くことになったのです。

ガソリン・スタンド

## G・Sで顔を売る

赤石さんのオートバイ歴は小学生時代から。今だからいえるのですが、無免許で、風を切って走っていたものです。

高校時代は、晴れて名乗りをあげて堂々とモトクロスに挑戦しました。修理はもちろん、整備、改造もすべて自分の手で。オートバイのことなら、学校の鞆の中味よりもよく知っているほど、機械に精通するようになったのです。

ですから、高校を卒業して、就職となれば、当然、趣味の機械いじりが即、役に立ったのです。

国鉄の順法ストで一躍名を売った埼玉県の上尾駅。このあたり一帯は、首都圏のベッドタウンとして大発展、人口がドツと流入してふくれ上る一方です。

この上尾駅の裏手、まだまだ畑も目に入る静かな一角の通りに面して、ま新しい「YAMAHA」の看板が目に入ります。

これが、この四月にオープンした赤石博行さんの「スポーツショップ上尾ヤマハ」です。若冠22才の若さで、厳しい業界に船出した赤石さん。

しかし、地元ではモトクロス・ライダーとして大いにならしたキャリアをもち、メカに精通した技術をもって若者たちにとけこんでいこうと高く掲げたセールを大きくふくらませてのスタートです。



MCFAJ第31回全日本モトクロスでノービスクラスのクラブ賞を受賞した折の記念写真。前列左から三人目が赤石さん



若さハツラツの赤石社長。無口で実直な好青年です。

もつとも、高校を出たてといえは、まだまだ遊びたい年頃。そのまま就職をする気になれずに、ガソリンスタンドでアルバイトをすることにしました。

アルバイト中は自由気まま。日本一周など、青春の日々を満喫しました。

現代風のチャッカリ精神というのでしょうか、アルバイトをしてお金をため、そして旅を楽しんではまたアルバイト。その間、四輪も乗りこなし、機械にもさらに精通し、根っからのクルマ好きを信頼して、赤石さんを頼ってやってくる修理のお客さんも、たくさんできるようになったのです。

## レーシングチームと

## G・Sのお客さんをベースに

自分のお店を開店するにあたって、これらのなじみのお客さんが、有力な顧客リストに加わったことは、いうまでもありません。

それに、高校時代からのモトクロスの仲間たちも、有力なお客さんに加わりました。

赤石さんは、かつてモトクロスで大いに名をあげた実績をもっているのです。いまま埼玉県下のMCFAJ（イナ・レーシング・チーム）、MFJ（上尾レーシング・チーム）の両方に所属するベテランです。

当然仲間もいっぱい。

こうした仲間たちを通じて知り合う大勢のライダーたち、それからガソリン・スタンドでのお客さんを対象として、自宅の納屋を修理場にして、バリバリ稼ぎまくったこともあ

ります。

## 開店10日余で 七台の売上げ

自己資金はゼロ。

まず愛用したスカイラインGTを50万円です売却。開店に大反対だった両親も、30万円を援助してくれました。これに兄さんが銀行から借りてくれた百万円を合わせて、総計百八十万円が資金です。

地所は自分で捜しました。ヤマハオートバイ店のない、まったくの処女地を条件に選んだのです。

権利金の50万円を支払い、あとは月々4万円の支払いで店舗をかりました。

内装、外装の殆んどはヤマハが代行。陳列商品の大半は委託です。

開店いらい、二週間足らずで、大型車が七台も売れました。この七台のうち、四台はガソリン・スタンド時代の知人が買ってくれました。あとの三台は人づてに赤石さんの開店を友人から聞いてきてくれた見ず知らずの人たち。うち一台は、名前も顔も知らないフリのお客さんだったという事です。立地のよさもさることながら、これまでの交際の結果がこの大きな実りをもたらしたのです。

## 友人、知人を仲立ちに

## さらに大きな発展を

商売をするなら友人知人は最後の手。常に新しい市場を求めて積極的な開拓を図ること





修理はお手のもの。この腕とオートバイ歴を  
当店の強力な商品にすれば、繁栄は確実。

が第一です。赤石さんも、そのことは先刻ご承知。レーシング・チームが顧客になってくられても、すぐに市場はつきてしまうでしょう。しかし、友人・知人を仲立ちとして未知の市場に挑むことは可能です。赤石さんには、モトクロスで売った名と、乗る、直す腕と経験があります。今後はそれをさらにじょうずに活用して、魅力と信用のある商売につなげ、

そこから生れる成果をもとにお店の独自のソフトウェアを開発すれば、繁栄はまず間違いなし、といえましょう。

勤めた方が収入も労働もラク！そんな具合ならサッサと店をたたんじやう、とアッサリおっしゃる赤石さん、これから経験と技術をいかして、大いに発展してもらいたいものです。

## モトクロス兄弟を

### たすけるジッピイ・ガール

お父さんの時代からの古いお店を、17才で引きついだ平松楠二さんは、まだ23才の若い経営者。この楠二さんを助けて、21才の弟さん正寛さんが、お店を助けています。

そればかりではありません。楠二さんの奥さまをはじめ、まだ高校在学中の妹さんたちも、お兄さんのよき協力者です。メイトやジッピイに乗って街中をスイスイと走ってそれ自身たいへんなPRにもつながっています。妹さんがジッピイ・ガールなら、楠二さん正寛さん兄弟は、ちょっとは名の知れたモトクロス・ライダー。

兄さんの楠二さんが、近隣のモトクロス大会ではチャンピオンの座を獲得したこともあるベテランなら、片や弟さんの正寛さんは、もっか「ドレーベル杯」をめざして猛練習という、ベテランぞろいです。

# 兄弟そろって モトクロス・ライダー

平松商会 ● 大阪府岸和田市宮本

平松 楠二さん

沿岸にコンビニナートがびっしり立ちならぶ大阪湾、その大阪湾を堺の街から和歌山に向っておよそ二時間も走ると、岸和田に入ります。その間、海側に見えるのは、鉛色に林立するコンビニナートばかり。岸和田の街に入ると、幾分ホッとします。

この岸和田市のメインストリートに面して矢羽に「ヤマハ」の看板を掲げたお店があり

ます。店舗面積こそ大きくありませんが、店頭にはズラリとならんだ商品群は圧巻です。ゼッケン・ナンバーをつけたモトクロッサーなどもあつて、見るからに活発な雰囲気があふれているお店です。

これが年間三桁のすばらしい営業実績を持つ「平松商会」さんです。



奥さまもお店に花をそえる。一家揃ってお店の繁栄を支えている明るさが、ユーザーに好感を与えている。



ツーリング・クラブのメンバーリストを背景に、若さあふれる平松二兄弟。

当然、修理の腕はたしか。せまい店内には無駄なスペースは一坪たりともなく、ただひたすら修理に必要な用具類が並んでいます。

## ずらり壮観の店頭陳列

### 商売は熱意と誠意を基盤に

平松商会さんの店頭には、通りいっばいにくろろとはだしのオートバイがズラリと並んでいます。すべて泉州ツーリング・クラブのメンバーのオートバイです。

最近、店の並びにできた倉庫を借りて、これらクラブ員のオートバイを預かっています。朝がくると、これらのオートバイを店頭に並べ、これがオートバイ・ファンの目をひきつけます。

これといって経営方針に、分析や検討を加えての、とりたてたソフトウエアと名のつくアイデアを開発したわけではありませんが、経験的に割り出した平松さんの商法は、分析すればそれなりの確かな裏づけがあるのでしよう。

営業的には、いわば八方手をつくしての販売戦略。都会のように科学的販売戦略や戦術のし烈な立地と違って、この辺ではまだ泥くささの残る販売方法が、それなりの成果をあげているようです。

ではその泥くささの残る商法とは何か？それは熱意と誠意とでユーザーに接するという、商売にとって第一の大切なファクターを一途に押しすすめていくことだ、といえましょうか。

## ツーリング・クラブを

### ベースにして

平松さん兄弟には、見るからに誠実で快活で、人を魅きつける人間的魅力がそなわっています。しかも、話をしていると、商売にさとい、何かカンのようなものを持っておいでのように感じられます。

営業的には官公庁をはじめ各種の法人、警察にも顔売って、その快活な人柄で販路を確保しています。また、常にユーザーに誠意と親切で接し、オートバイのトラブルには得意の技術知識で、懇切にいねいに相談にのっています。

それにもまして、平松商会さんが五百人も固定客を確保しているのは、やはり当商會が組織している泉州ツーリング・クラブをベースにしているからでしょうか。

泉州ツーリング・クラブのメンバーは全部で30人。

平松さん兄弟は、毎週日曜日にはきまってこのメンバーの誰か彼かと、ショート・ツーリングに出かけていきます。

オートバイ愛好者とのスキンシップを深めるため、また当商會のお客さまたちの保護者として事故防止のために、また正しいツーリングマナーを普及して本当のスポーツ・レジャーの楽しさを知ってもらうため、かかさずにツーリングに出かけるのです。

一度でも事故が起きたら、お客さまはオートバイから離れる——そうした気持が、ツ



ツーリング・メンバーのオートバイがズラリと店頭に並んでいる。オートバイ・ファンには見すごしのできないちよつとした威容だ。



弟さんの正寛さんのモトクロスのあてやかな勇姿。今年はTCMSのチャンピオンを目指している。



修理場、二坪ぐらいの小さな店内。これでも年間三桁を売りさばきます。



平松商会さんの全景。左側は、楠二さんの代になってからの3年前に新築拡張したもの。



リングに同行するひとつの理由となっています。これらは経験的に割り出された、間違いのない経営戦術のひとつといえましょうが、今後さらに業界の競争が激化すれば、これらオートバイ・ライダー経営者としての強味を大いに活用して、効果的なソフトウェアの開発へと押しすすめることは簡単なことでしょうか。今後の着実な発展を心から期待したいと思います。



オモダ自動車商会さん全景。右側は増築したショールームです。

# 若人といっしょに

## ツーリングが

オモダ自動車商会 ● 大阪府岸和田野田町

重田 保さん

同じく岸和田市。平松商会さんからクルマで10分と離れないところに、やつぱりオートバイの大的愛好者が、ヤマハのお店を開いています。

昭和38年4月1日創立。オートバイ店として開業。一時お客さまの求めに応じて軽四輪を扱いはじめ、四輪車の専売にころざしました。

しかし、駐車場難、排気ガス公害など四輪の将来に影がさしてきたところから、現在はヤマハオートバイ専売店として、しつかり的をしぼりこんで、大きな成果を収めておいでです。

当商会の特長は、奥さまの博子夫人がたいへんな働きものでお店を助けていらつしやること。18才でご主人と結婚、2年後オートバイ店として独立した折、右も左も知らない業界で辛酸をなめるご主人を、明るい笑いで上げました。

店舗は仲人をつとめてくれた叔父さんからの借地。店舗つきで現在もひきつづき賃借ですが、お店はショールームを増築、大きく発展しました。

6年前、片腕とも頼む弟さんが、店を辞めてからは、今までふくれ上ったお客さんをとりにきるので手いっぱい。敢えて外売をする暇もないほど、修理に販売に大ワラワです。

### 苦しかった過去を

#### 鏡にして

こんな風に、お客さまのご愛顧をいただくようになったのは、何といっても誠意あふれるサービスのよさから。そしてこの営業姿勢は、お客さんが一人も来てくれなかった、開店当初の、あの苦しい苦しい想い出によって支えられています。

当時、店をあけた方がいいが、お客さまは一人もなく、一カ月の間モンモンとして、店にお客を待つて暮したということです。

そして、はじめてきたお客さまも、当商会の顧客になってくれるには、まだまだ、かなりの日々を要しました。

だから、あの苦しさが忘れられないのです。どんなお客さまも、ありがたくてしようがない、それが重田さんご夫妻にとっての実感です。

そうした苦しい予測がなかった訳でもなかったのですが、重田さんがこのオートバイ業界に足を踏み入れたのは、重田さんが大のオートバイ・ファンだったから。それに、軽四





わが家の全員。ただし、もう2人のお子さんは留守。前方に坐っておいでの方婦人は博子夫人のご母堂です。



ハリギリ奥さま、博子夫人は、昨年のYGSFでトロフィー獲得。いつもジッピイに乗って、集金に駆け廻ります。



頼みとする修理の浅沢公雄君(20才)。浅沢君のまじめな働きなしに、お店の繁栄はなかつたでしょう。



納屋にギツシリのレーシング・チーム・メンバーのオートバイ。営業上の有力な力です。

輪のさるメーカーに勤務していたところから、機械の面での技術・知識が豊富だったからです。

オープン作戦、営業作戦など、理論でいうのは簡単ですが、えてして人間ひとり独立するとなると、マーケット・リサーチも果して効果のあるものなのかどうか――。

まずは目の先の、「いかに売るか」に頭がいっぱいになるのは当然のことです。

しかも、当時、なにが旨いソフトウェアを開発したら、お客さんは店にきてくれたでしょうか。

商売は、先に行きすぎてもダメ、後からいってもダメと、なかなか難しいもの。ともかく、今日の繁栄をきづかれた裏には、いうに云えない数かずのご苦労もあったことでしょう。

## ツーリング・クラブから レーシング・クラブへ

さて、昔でいうなら、さしずめオートキチ族というほどのオートバイ・ファンであるご主人は、若い人たちとツーリングを楽しむのが大好き。

こちら「オモダ・レーシング・クラブ」を結成して、スポーツ・レジャーの楽しさをお店の附属商品にして拡販をはかっておいでです。

メンバーは20名。最初ツーリング・クラブを結成しましたが、全員卒業したので卒業生を吸収してレーシング・クラブにしたのです。

お店の脇の納屋には、メンバーのオートバイがギツシリ。大切に保管しています。これらのメンバーの中には、セールス・リーダーもあり、お店の繁栄を支える強力な力となっているとか。

ここオモダ自動車商会さんでは、免許教室も大いに活用しています。

当商会の受講者は合格率一〇〇パーセント。ヤマハが業界に率先して実施したソフトウェアを、じょうずに活用して、拡販に成功しているお店のひとつなのです。

こちらも、時代の流れに沿った営業方針に従うなら、お店の持つ強味、立地条件、特色などを分析、研究して、お客さまをさらに獲得する、アイデア的なソフトウェアの開発が必要といえましょう。

それには、ご主人の持つオートバイ知識と技術、それから奥さまの働きずきなどを、噛み合わせて、いくつもの効果的なアイデアがひき出せそうです。

世の中は流動的に変化しており、いつまでも現在の商法が大手を振って通るとは限りません。その日のために、日夜、よき経営の協力者、博子夫人とも語りあって、お客さまに魅力あふれるソフトウェアを開発してほしいものです。

'73全日本選手権第6戦 秋田モトクロス大会

ベテラン鈴木忠男をトツプに  
10クラスに9優勝のヤマハ勢

ヤマハモノクロスサスペンションのYZMの衝撃的な登場と、ニューヤマハMXおよびYZの快進撃など、ことしの全日本選手権シリーズ(MFJ)のモトクロスは話題にことかかないが、シリーズも折返し点をまわった七月七日八日の第六戦秋田モトクロス大会(秋田県大湯スキー場)でもヤマハ勢は大活躍、ノービス125cc級こそ首位を逃がして2位にとどまったが、他の全クラスの優勝をヤマハ勢が一手にさらい、またまた大きな話題を呼んだ。

まず注目のセニアクラスでは、25cc級に新鋭の杉尾良文選手(神戸の実)が鈴木秀明選手(遠州ライダーズ)をリードして優勝、ランキングのトツプをますます確実なものとしたほか、2ヒート制の250cc級では第一ヒートに秀明選手に次いで二位となった鈴木忠男選手(極東レーシング)が猛ハッスル、第二ヒートを独走で久々の



★鈴木都良夫★  
FIM杯A部門のチャンピオンに



久々にダントツをきめた鈴木忠男選手の力走

優勝を飾った。

またエキスパートジュニアでは250cc級にタイコとノボリの応援団をもった山口達夫（インパルス）、125cc級に九州からの木下信安（福岡ブレイメイト）が、そしてジュニアでは古田哲郎（杉並テクニカル）がまたまたトリブルクラウンをなしとげ、ノビスでは250cc級に布田善一（スポーツライダー）オブ宮城）90cc級に田中正雄（神戸の実）が、いずれもヤマハで勝利を手中にした。

来年度から世界選手権シリーズに昇格されるといわれるFIM杯争奪125cc級モトクロスのA部門シリーズにYZM125で挑戦していた鈴木都良夫選手（遠州ライダー）は、六月二十四日に行なわれたポーランド戦でまたもトップに立ち、五戦十ヒートのトータルで一ヒートを落としたのみの得点百三十五をあげ、みごとA部門シリーズのチャンピオンを獲得した。

A部門およびB部門の優勝決定戦は、それぞれ上位十二位までのライダーにより、九月二十三日ユーゴで行なわれる。

写真は喜びの鈴木都良夫選手と三勝目をあげたデンマーク戦でのスナップ。

# 水のYAMAHA——トップ・ブランドです

安全と楽しさをつなぐヤマハ

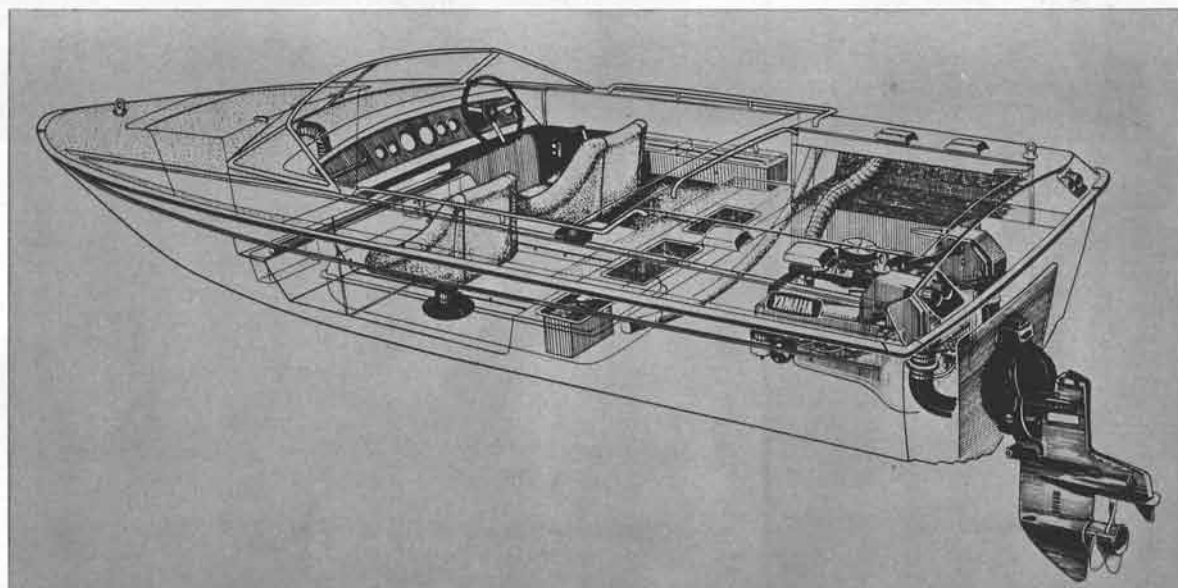
まっさらの夏——

水のシーズンは今だけなわです。

そして、この水のシーズンに活躍しているのがヤマハボート群です。

小は手軽なロー（手漕ぎ）ボートから、大は43フィートのオーシャンクルーザーまで、30種以上のあらゆるタイプが用意されているのはヤマハだけです。しかもいずれもが、鉄よりもつよく、アルミよりも軽いといわれるFRP製。もちろん各艇とも、徹底した安全性の追求がなされ、品質、デザイン、性能ともに抜群です。

さらにヤマハでは、健全なマリナーレジャーの発展に積極的な働きかけを行ない、ボート免許の取得から水上スキーやボートフィッシングなど、海象、気象も含めた各種の教室活動を実施して好評です。



ヤマハボート  
STR-20SP透視図

このように、エンジンを艇内につみ、ドライブ系を艇外においたものをインボード／アウトドライブといい、I/Oと略します。また一般におなじみの船外機付のものは、アウトボードモーターで、Oと記して区別します。



# ヤマハ YAMAHA

## ゆたかな商品群

陸に、水に、雪に、楽しいスポーツレジャーを生み、精力的に働くヤマハ、YAMAHA  
みなさまがおなじみの、あるいは初めてのヤマハをここに  
ご紹介します。お客さまのお話のネタとしてどうぞご利用  
ください。



より大きな楽しみをつくる

## STR-25 OSP

STRとはストライプタイプの略で、ヤマハボート独特のディープV型の船底をもっています。このタイプは旋回時の安定性はもちろんのこと、波切りの良さ（凌波性）も抜群です。25は全長25フィートのことで、14、15、16、17、18、19、20、23、25、28、43フィートの各種があります。またOSPはオフショアスポーツボートの略で外洋におけるボートिंगも可能なタイプを示します。



青い海をすべるように走る

## TRI-12 SDX

TRIは、トリマランタイプの略で、船底が3つに分かれ、小型艇として滑走性、旋回性に富んだ性能をもちます。とくにこのTRI-12SDXは、見るからにスポーティで、デラックス(SDX)なデザインと性能が受け若いお客さまの間で評判のものです。TRIには8、10、12、14フィートのシリーズがあります。



ポイントへ静かに直行

## FISH-12

FISHとは、フィッシングタイプの略。釣り船用としてデザインされ、広い船内にはイケスもあって太公望を満足させています。12は船の長さで、12フィートを示します。FISHにはこのほか14フィートもあります。



緑の中でひとときわ目だつ

赤くて、小さくて、かわいい  
**YAMAHA**  
**chappy** 

いままで、バイクにはまったく関心をはらわなかった方々、主婦の方や年配者の人にも親しみやすいカタチとスタイル、運転操作)でご拡売いただける商品、それが「ヤマハチャッピー」です。Zippy & Chappyの新しいセールス・キャンペーン「Love Love シャツポプレゼント」と「ハローチャッピーキャピイキャンペーン」実施中!!

